

# 北野謙展

# 時間の部屋

一般に写真行為は、写真を「写す」や「撮る」という言葉で語られます。しかし本音を言うと、私はどちらもしっくり来ません。

私が一番ピタリするのは「現れる」です。

（する）でも（される）でもない、過程の中の行為。

自分のコントロールする範囲を超えた領域にアクセスすることは、写真の特徴の一つだと思っています。

東條會館ではこれまで膨大な数の婚礼や家族写真のほか、

三島由紀夫の楯の会、昭和天皇、エリザベス女王の写真などの

歴史的な写真が「現れ」てきました。

写真はたとえ写した人が亡くなった後も、写された人や建物がなくなった後も残ります。

つまりあらゆる写真はやがて遺影になるのです。

別の言い方をすると、写真は未来に繋がっていると云えます。

私たちは写真を通して、

未来の他者とコミュニケーションしているのかもしれない。

今回の展示では、建物の各フロアにインスタレーションした

「未来の部屋」「写真の部屋」「過去の部屋」「現在の部屋」

そして「百年後の部屋」という、時間や記憶にまつわる体験的な展示を巡っていただきます。

相変わらず「今、ここ、私」が過剰に強調され続ける時代です。

しかし思い切って、「今」や「ここ」や「私」の1点に焦点を絞るの「じゃない側」を見てみる。

茫漠とした、アンフォーカスの向こう側の世界を、想像しながら、眺めることはできないでしょうか？

北野謙

by T. Kojima

株式会社 東條會館  
写真研究所

2024年9月27日（金）～11月24日（日）

Press Release | 北野謙「時間の部屋」 | 東條會館写真研究所

## 展示会タイトル

時間の部屋

## 作者名

北野 謙 | Ken KITANO

## 会期

2024年9月27日（金）～11月24日（日）

## 開館

金・土・日・祝のみ | 13:00~19:00

## 会場

東條會館写真研究所

〒102-0083 東京都千代田区麴町1-6-12

## 入場料

無料

## お問い合わせ

Instagram @tojo\_kaikan\_photo\_lab

## オープニングレセプション

2024年9月26日（木）18:00~20:00 | 東條會館写真研究所

## 展示会概要

この度、東條會館写真研究所にて北野謙 写真展「時間の部屋」を開催いたします。北野謙は、人間の視覚を超えたヴィジョンを写真で表現し続けてきた写真家として広く知られています。

本展示「時間の部屋」は、東條會館が100年以上にわたりお客様と共に紡いできた時間を背景に、ギャラリー東條會館写真研究所を舞台に開催いたします。建物の各フロアに4つの新作を含め、インスタレーションした様々な「時間の部屋」を、時に鑑賞者自身でイメージを出現させながら巡ることで、過去、現在、未来といった様々な次元が交差し、時空を超えた物語を体験できます。

## アーティストステートメント

一般に写真行為は、写真を「写す」や「撮る」という言葉で語られます。しかし本音を言うと、私はどちらもしっくり来ません。私が一番ピッタリするのは「現れる」です。〈する〉でも〈される〉でもない、過程の中の行為。自分のコントロールする範囲を超えた領域にアクセスすることは、写真の特徴の一つだと思っています。

東條會館ではこれまで膨大な数の婚礼や家族写真のほか、三島由紀夫の楯の会、昭和天皇、エリザベス女王の写真などの歴史的な写真が「現れ」てきました。写真はたとえ写した人が亡くなった後も、写された人や建物がなくなった後も残ります。つまりあらゆる写真はやがて遺影になるのです。別の言い方をすると、写真は未来に繋がっていると言えます。私たちは写真を通して、未来の他者とコミュニケーションしているのかもしれない。

今回の展示では、建物の各フロアにインスタレーションした「未来の部屋」「写真の部屋」「過去の部屋」「現在の部屋」そして「百年後の部屋」という、時間や記憶にまつわる体験的な展示を巡っていただきます。

相変わらず「今、ここ、私」が過剰に強調され続ける時代です。<sup>フォーカス</sup>しかし思い切って、「今」や「ここ」や「私」の1点に焦点を絞るの「じゃない側」を見てみる。茫漠とした、アンフォーカスの向こう側の世界を、想像しながら、眺めることはできないでしょうか？

## 展示会詳細

**6F 過去の部屋** | 忘れ難い記憶。人から言われた言葉。日常は支配と被支配の対立に満ちています。哲学者のスピノザは意志を否定しました。人は意思ではなく意識や無意識に従って生きていると。意識とは「起きたこと」に対する精神。

**5F 百年後の部屋** | 100年後の社会や世界はどうなっているでしょうか。今ある暴力はなくなっているでしょうか。インドネシアの西スマトラ州、ハワイのマウイ島、東京の墨田区、石川県の珠洲市など。作者が旅して会った様々な人々の肖像と言葉。

**3F 写真の部屋** | 〈冬至-夏至〉の約6ヶ月間の長時間露光によって、写真には無数の太陽の光跡が現れます。そこには数十億年の宇宙のリズムが写る一方で、地上の私たちの営みも写り込みます。

**3F 現在の部屋** | 太陽から地球にやってくる光と、宇宙から降り注ぐ宇宙放射線。どちらも今ある私たちの生命に関わる〈外〉からの働きかけです。※日没後は一部鑑賞出来ない作品がございます。

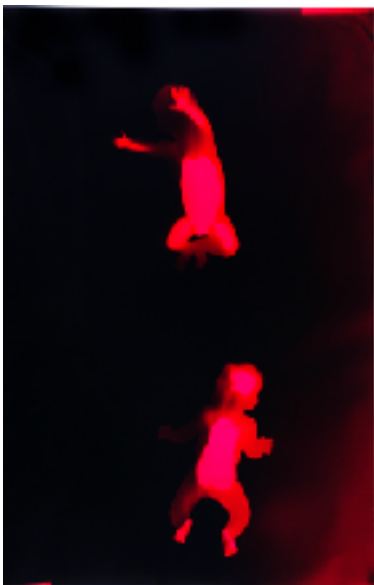
**B1F 未来の部屋** | 地下にはかつてボイラーや貯水槽がありました。流れてきた水が溜まり、配管にはお湯や蒸気が通っていました。水と熱がビルを循環し、暗室で写真が生まれました。ここでは乳児を撮影した「未来の他者」ほかを展示します。

## アーティストプロフィール

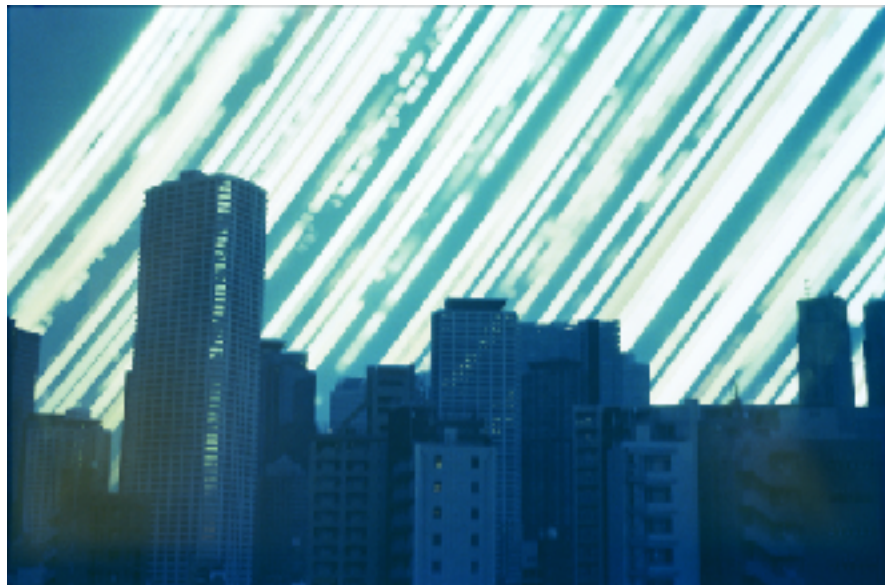
[https://mem-inc.jp/artists/kitano\\_j/](https://mem-inc.jp/artists/kitano_j/)

北野 謙 | Ken KITANO

写真家。人間の視覚を超えたところに現れるヴィジョンを写真を用いて表現する。世界各地の様々な文化や立場の集団を訪ね、数十人の肖像を暗室で多重露光して1枚の写真に焼き付ける「our face」シリーズでは、これまで世界各地の人々約1万人の他者を撮影。各地にカメラを設置して、太陽を〈冬至-夏至〉の長期間撮影する「光を集める」などの作品がある。国内外で展示会多数。作品は東京都写真美術館、東京国立近代美術館、J・ポール・ゲティ美術館（アメリカ）など、国内外の美術館にコレクションされている。



未来の他者, N3, 北野謙, 2018



光を集める, 東京都中野区 2016年冬至-2017年夏至, 北野謙, 2016-2017

## 関連特別講座



見る、考える、作る、話す、聞く

### 連続講座「イメージの痕跡」

— 光とイメージの“現れ”について考える —

北野謙写真展「時間の部屋」に合わせて、写真家の北野謙本人と美術評論家の中尾拓哉氏とによる連続講座を開催します。展示作品を糸口に、講義と参加者による制作と対話を交えた体験的なレクチャーです。

日時 | 1回目：10月11日（金）講義19:00~19:50 + ガラス写真制作19:55~20:45

2回目：10月25日（金）ガラス写真制作19:00~19:50 + 講義19:55~20:45

※事前にpeatixにてお申し込みください。（数量限定）

※両日参加のこと。片方のみ参加はできません。

開催場所 | 東條會館写真研究所

参加費 | 11,000円（税込/2日分材料費込）

詳細 | <https://peatix.com/event/4089265/view>

## 東條會館について

<https://www.tojo.co.jp/photo-studio>

株式会社東條會館は、創業者東條卯作の「幸せを念じて写す」という理念を元に、1912年麹町に写真スタジオを開業しました。現在も創業の地で、写真スタジオTojo Photo Studio、ビューティーサロンMaisonを運営し、お客様の人生の節目のお祝いを総合的に演出しています。展示会場となる「東條會館写真研究所」は、創業当時のモノクロ時代の背景を、今も色濃く残す建物となっています。当時は、その名の通り、各階にラボ/研究所が設けられ、感材や印画紙の研究をはじめ、数多くの写真の現像・プリント・修正作業が、手作業で行われていました。時は移ろい、デジタル写真が中心となった今日でも、先人たちが残した技術と想いを伝え続けようと、光の粒子を形に残す銀塩写真での撮影をはじめ、ラボ・ギャラリー・ワークショップなどの運営にも力を注いでいます。

## 問い合わせ先

株式会社 東條會館 | 東條 久美子

e-mail | [kumikoo-t@tojo.co.jp](mailto:kumikoo-t@tojo.co.jp)

phone no. | +81-(0)90-9158-3337

## 謝辞

ご協力いただいた皆様

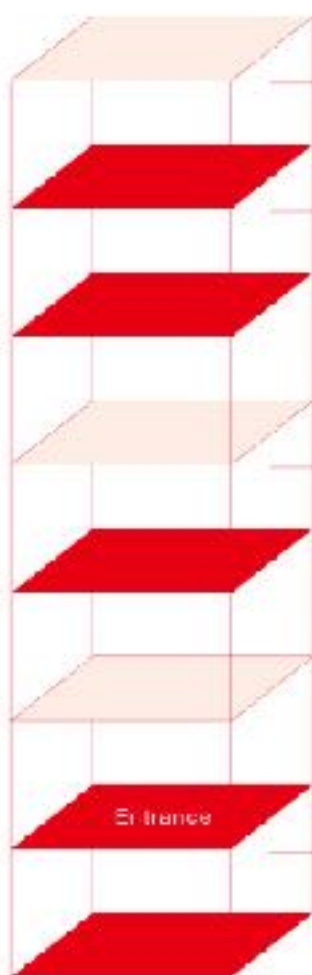
会場施工 | ヒロセガイ

グラフィック | 町口 寛 (Match & Co.)

寄稿 | 打林 俊 (Stylo Rouge)

協賛 | 荒川技研工業株式会社

商工：ヒロシグイ  
客員：杉林謙（Shigeo Sugiyama）  
編劇：宮川佳樹工業株式会社  
主催：東條画廊



6F：過去の部屋

忘れ難い記憶。人から言われた言葉。日本は支配と被支配の対立に落ちています。昔字者のスピノザは愚昧を否定しました。人は意思ではなく意識や無意識に従って生きていると。意識とは、「忘れたこと」に対する精神。

5F：百年後の部屋

100年後の社会や世界はどうなっているでしょうか。今ある暴力はなくなっているでしょうか。インドネシアのスマトラ州、ハワイのマウイ島、東京の墨田区、石川県の珠洲市など。作者が決して会った様々な人々の肖像と言葉。

3F：写真の部屋

〈冬至〜夏至〉の約6ヶ月間の長時間露光によって、写真には無数の太陽の光跡が現れます。そこには数十億年の宇宙のノズムが写る一方で、地上の私たちの営みも写り込めます。

現在の部屋

太陽から地球にやってくる光と、宇宙から降り注ぐ宇宙放射線。どちらも命ある私たちの存在に関わる〈光〉から力を受け取ります。※日没後は一部観覧出来ない作品がございます。

B1F：未来の部屋

地下に降りた「ボイラー」や貯水槽がなくなり、溢れた水が溢れ、都市にはお湯や蒸気が溢っていました。水と熱が沸くを循環し、働きと写真が生まれました。ここからは未来を想像した「未来の社会」ほかを展示します。

見る、考える、作る、話す、聞く  
連続講座「イメージの痕跡」  
——光とイメージの“現れ”について考える——

北野謙 展 時間の部屋 に合わせて、  
写真家の北野謙本人と美術評論家の中尾拓哉氏による連続講座を開催します。  
展示作品を糸口にして、講義と参加者による制作と対話を交えた体験的な連続講座です。

【内容】  
制作実習：展示作品にもあるガラスの複製作品を制作します。  
透明なガラスに写真乳剤を塗り、参加者が撮影した自画像もしくはモチーフの写真を焼き付けます。  
制作実習は東條画廊の暗室で行います。制作から感じたことを言語化し、対話によって共有します。

【講義】  
展示作品を糸口にして、写真や絵画にとりて根源的な、  
光とイメージについて、〈痕跡〉と〈現れ〉について、その視眼に照って考えます。

【スケジュール】  
10月11日（金）& 25日（金） 19:00-20:45  
※両日参加のこと。片方のみ参加はできません。

【詳細／お問い合わせ／お申し込み】



二〇二四年九月二十七日（金）—十一月二十四日（日）開館：【金／土／日／祝】—三時—一九時

# 北野謙 展 時間の部屋

- ・ オープニングレセプション：九月二十六日（木）—八時—二〇時
- ・ 連続講座「イメージの痕跡」中尾拓哉×北野謙

一〇月十一日（金）& 二十五日（金）※両日参加必須

東條画廊写真研究所  
〒100-0369  
東京都千代田区麹町1-6-12  
☎ @Tojo\_photo\_lab  
📧 @tojo\_keiken\_photo\_lab

